

独立行政法人統計センター評価に関する有識者会議〔議事要旨〕

1 日 時:平成 30 年 8 月 1 日 (水) 11:00～12:00

2 場 所:総務省第 2 庁舎 3 階第 1 会議室

3 出席者:(有識者) 廣松毅 (座長)、岩下真理、加藤久和、小林稔 (敬称略)
(総務省統計局) 千野統計局長、横山大臣官房審議官、佐伯統計調査部長、
岩佐総務課長、田村調査官、陶山課長補佐
(統計センター) 佐藤経営審議室長、山邊管理部次長、黒川統計編成部長、
角田統計情報・技術部長、小川参事 (経営企画担当)

4 議 題: (1) 平成 29 年度に係る業務の実績に関する評価 (案) について
(2) 平成 27 年度～29 年度に係る業務運営の効率化に関する事項の評価
(案) について
(3) 総合評定 (案) について
(4) その他

5 議事概要:

(1) 総務省統計局から平成 29 年度に係る業務の実績に関する主務大臣による評価 (案) の説明が行われた。

(2) 平成 27 年度～29 年度に係る業務運営の効率化に関する事項の評価 (案) の説明が行われた。

(3) 質疑が行われた後、総務省統計局から総合評定 (案) について、説明が行われ、項目別評定及び総合評定ともに妥当であるとの意見で一致した。

(4) 有識者からの主な意見等は以下のとおり。

○「業務の効率化」は非常に大事だが、効率化することによる弊害もある。新しい仕事が増えてきているので、ただ単に人員を削減すればいいというものではないと思っている。初期の目標だけにとらわれず幅広い業務に積極的に取り組んでいただきたいと思っている。

○「地方機関への移転」について、統計データ利活用センター (和歌山県) の開設に至るまでは、大変な御苦勞があったと思う。業務がうまくいってから評価を上げるのでは時間がかかるため、まずは開設したことを評価してよいのではないかと。また、今後のオンサイト施設利用の推進過程では、従来とは異なる運営やそれに伴う課題等が出てくると思われるので、先を見越した上で柔軟に対応いただきたい。

○業務運営の効率化に関する事項の評価について、業務・システムの最適化に関する事項は、ICT の活用や業務プロセスを見直して効率化を進めた点等をもっと評価してもよいのではないかと。

○「オーダーメイド集計」について、目標を大きく上回る収入を得たことを高く評価する。

○ビッグデータなどのデータ活用が大変盛んに言われているが、統計教育そのものがまだ十分ではないというのが現状なので、統計教育を更に進めていただきたい。また、ビッグデータの核となるのは公的統計であると思われ、手本を示すという形で、統計センターが先導的な役割を担っていただきたい。

○統計データが多くの利用者によって活用されるためには、インターネットを経由してデータベースを活用している事例を提示していくことが重要ではないか。

以 上